

## 編 集 後 記

脳動脈瘤も非侵襲的な血管内治療が進歩しており、秋山先生は数少ない脳血管内手術指導医であるので大変参考になる。浦野先生はクラゲの緑色蛍光蛋白質で細胞内生体分子の動きを可視化するという素晴らしい仕事をされて Science にも掲載された有望な研究者である。昔の生化学を学んだものにとっては信じられない進歩である。ただ驚いて頂ければ幸である。泉先生は妊婦のサイトメガロウイルス感染対策の総説から、島根県における新型インフルエンザのサージをまとめて解析した貴重な論文、そして新型インフルエンザから学ぶサージ回避の手掛かりを具体的に検討し、無症状の感染者から親密な接触によって感染が広がることに注目した論文の3編を投稿頂き、今後に備えて大変参考になる。木佐先生は経管栄養患者の胃排出能検査に安価なバリウムボールを自作して有用性を報告された。このような現場での創意工夫は摂食・嚥下障害リハに大いに役立つことが期待される。小野先生の集中リハ療法の成果と保険診療上の問題指摘は重要である。大野先生の難治性の下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌手術成功例は患者さんに希望を持たせる素晴らしい報告である。全体的に新知見、創意工夫がみられ県医師会の雑誌としてはかなりレベルの高い内容である。島根医学は早くから電子化され誰でも閲覧出来る全国でも先進的な医師会雑誌である。ますます投稿が増えて医師会の皆さんの生涯教育に役立つよう努力したい。

(S. K)

## 島根医学編集委員

岩本正敬， 貴谷 光， 錦織 優， 児玉和夫， 葛尾信弘，  
 森本紀彦， 浅野博雄， 木下芳一， 佐藤比登美， 小林祥泰，  
 中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成22年6月30日発行

発行者 島 根 県 医 師 会

編 集 益田市乙吉町  
編集者 岩本正敬発行所 松江市学園南2丁目3番11号  
有限会社 松陽印刷所